

## 11月の保健だより

たかさご保育園

朝・夕はめっきりと涼しくなり、つい厚着になりがちです。しかし、寒暖の差が激しいこの時期こそ薄着の習慣をつけて、冬の風邪に負けない丈夫な体をつくりましょう。

園では、10月中旬におたふくかぜと乳児に発生していた「RS ウィルス感染症」が終息しました。地域的には、感染性胃腸炎(嘔吐・下痢)が発生している様なので気をつけましょう。

### 保健行事

歯科健診 11月6日(火曜日) 9時30分より嘱託医の桜井先生による

0才児健診 11月13日(火曜日) 14時30分より嘱託医の吉崎先生による

※今月より、0才児健診は、月に1回となります。身長・体重測定もしています。

※両日とも地域の方もぜひお子さんと一緒にお越し下さい。

カラーテスター 4・5才児対象となります。歯科健診後に予定しています。

### 歯の表彰について

保育園における歯科検診の目的は、早期発見、早期治療です。園においては、子どもの心身の健康を守ることと、幼児(4才児)からは、自分で守ろうと思う意識をもってもらうために下記の『歯の表彰』を行っています。

♥ 『むしばがなかったでしょう』…虫歯がなかった子

♥ 『むしばをなおしたでしょう』…検診の結果、虫歯の疑いまたは、虫歯が

ある場合に歯科通院して、その結果を園に提出した場合。(配布した用紙に歯科医の検印をもらって下さい!)

♥ メダル…カラーテスターを行い、上手にみがけていた子、普段から頑張っている子

※いずれも4・5才児対象です。3才児に関しては、前期は、歯みがきのスタート期のため後期になってから表彰の対象となります。



### 運動遊びと切り離せない『ケガ』について考える

幼児期の子どもにとって、運動遊びは成長に欠かせない大切なものです。それは健康な体の発達はもちろん、豊かな心を育むためのものでもあります。走る、跳ぶ、投げるといったさまざまな動きを身につけ、運動能力を高めるのに適した時期は幼児期からとされています。特に、幼児期に多様な動きをくり返し経験しているかどうかは、その後の体の発達に重要な影響を与えます。幼児期の子どもがさまざまな動きを身につけていくのは、日々の遊びを通してです。遊びを通してこそ、さまざまな動きを身につけ、運動能力をたかめることができます。子どもたちはたくさん活動して小さなケガをいろいろと経験することで、大きなケガを防ぐ力、身のこなしを身につけています。痛い経験をするから、「痛くないようにするには今度はどうすればいいのか」を考えるのです。

また、爪をきちんと切って相手にケガをさせないようにする、髪の毛も視野をじゃましないように整える、そして、睡眠をたっぷりとることも大切なことです。

園での「ケガ」については、その都度、連絡させて頂いていますが、園で気づかなかった分についても、小さなことでも家庭から園にご連絡して頂けますようお願い致します。

園では、ケガを防止するために、園内の安全点検や、ケガが起りやすい環境や状況に関して職員間で情報共有を行い、保育にあたっています。